

令和5年度志木市立宗岡小学校 第3回 学校運営協議会議事録

1 開催日時 令和5年10月28日(土) 11:40～12:25

2 場所 志木市立宗岡小学校 多目的室

3 出席者

学校運営協議会委員 津田 美奈	学校運営協議会委員 大熊 克範	学校運営協議会委員 (欠席)内田 義明	学校運営協議会委員 石井 英男
学校運営協議会委員 新井 京子	学校運営協議会委員 田中 直広	学校運営協議会委員 細田 大二郎	学校運営協議会委員 (欠席)若杉 一輝
学校運営協議会委員 坂田 章法	志木市立宗岡小学校長 小木曾 久美子	—	—

【全体司会 教頭 ・協議司会 委員長 ・記録 岩崎壮志】 (計10名)

4 協議内容

(1) 学校経営方針について経過報告(校長)

【質疑応答】

○宗小祭りは保護者も自由参加なのか

→参加は児童優先になるが、参観自由としている。

○今年の市内音楽会はどうなっているか。

→パルンティが使えない関係で、会場が変わっている。今年の対象は6年生。

○埼玉県学力・学習状況調査について、学校としてどのような課題があるか。

・どの学年も「言語活用能力」に課題がある。また、テストの様式に慣れていない様子もある。テスト自体に慣れ、読む活動を増やしていくことが必要である。

→CBT化に向けて、タブレット端末の操作に困らないように慣れさせていく。

・児童一人一人の学力の伸びは見取れているか。

→研修や日々の授業実践の中でビッグデータ(結果に係る帳票)を活用して対応している。

○254バイパス一部区間開通の影響はあるか。

→予想に反して影響は出ていない。別件にはなるが、バイパス完成に伴い大型店舗の出店工事がある(せせらぎの小径付近)。今後の動きに注視している。

・立体歩道橋を利用しているか。

→通学時に利用する班はいないと報告を受けている。

・歩道橋を渡っている様子がある。

→後日確認し、安全面に配慮した指導を継続する。

○季節によるが、様々な活動に対して熱中症対策をした方が良いのではないかと。ま

- た、対策した内容を保護者や地域にアナウンスすると良いのでは。
- WBG Tの指数に準じて、活動の可否判断するよう徹底している。設置場所によって値が変わることもあるので、活動場所で測定するようにしている。
- 測定器には個体による精度の差があり、時間帯による気温上昇の考慮も必要になる。数字に頼るのではなく、ある程度、活動内容や気温変化を総合的に判断して対応している。

(2) 学校関係者評価について (教頭)

保護者アンケートの改訂目的

保護者にとって質問内容をわかりやすい表現にすること、また、質問数を統合して精選すること等を主な目的として改訂を行った。

【質疑応答】

○清掃については、例年厳しいご意見があるがどのような意図で変更したか。

→指摘は受け止めるが、建物の構造上、対応困難なものが多い。学習環境を含めての評価が得られるよう表現を変えた。

○PTAに関する質問については、学校評価の範疇ではないため、なくす方向で良いか。

→必要であればPTAが自らアンケートをとればよい。学校評価の中にあることは不自然なので、なくす方向でよい。

○小中一貫教育を見据え、近隣3校で学校評価を見合わせたりしないのか。

→小中一貫の是非については、別で保護者向けのアンケートを作成している。

・3校で同じ視点で学校評価を見ているのかを聞いている。評価項目が揃っているか。

→学園長の役割(副校長)が明確になると、評価項目の統一が図られるのではないか。

・各質問項目について、文科省が示しているものなのか

→詳細に示しているものはない。ただし、実施することについては示している。

○児童アンケートにある「宗岡の自慢」という表現を変えるか検討している。変更しても問題ないか。

→問題ない。

(3) 150周年記念行事について (実行委員長)

【質疑応答】

・実行委員長は細田大二郎とする。

・PTA会員10名程度。

・志木小学校、志木第三小学校と連携する。

・学校運営の過度の負担をかけない。

・前年度の余りを予算として支出する。

・学校行事の同時開催とする。

- ・平常通りの時間割で進行。
- ・記念品を配布。
- ・開催日程の調整を3校で行う。

(4) 情報提供等

5 その他

【質疑応答】

○校外でのマラソン大会実施を考えている（PTA会長）。例えば、土手でのマラソン大会が実施できないか等、委員より意見を伺いたい。

→昔はやっていたが、行くまでの安全管理や時間確保（1日ばかり）に課題がある。

→学校の周辺道路を走る例もあるが、安全面が気になる。

→試走、AED等の持ち出し、緊急体制の確立などハードルが多い。

・学校の覚悟の問題ではないか。続けていくことを前提として、宗小特色の行事とするかで判断すべきでは。

→このご時世、PTAの協力無くしては難しい。現実を精査して継続の可否を判断した方が良い。校庭コースのマラソンは確かに教育活動として気になる。マラソン自体を続けるかも考えていかなければならない。

→授業時数の削減が求められる中で、PTAからの提案として受け入れる難しさがあることを知っていただきたい。最終的にどんな結果になっても受け入れて欲しい。

・学校行事として扱うのか。

→学校行事として扱うことになる。地域イベント（三校合同）の延長ならまだ考えられる。

→土手の使用や安全管理、大会運営等を考えると現実的ではない。

→児童の安全の確保ができないのであれば、やらない方がよい。

→一般の自転車や散歩の人に対しての配慮が必要。

6 閉会